



豊中少年少女合唱団 第3回定期演奏会

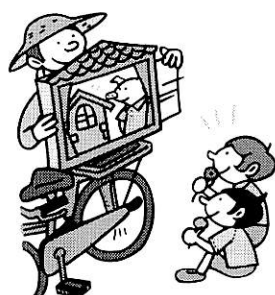
共 演

ママス&パパス (保護者)

豊中ユース合唱団

豊中混声合唱団

関西大学グリークラブ有志



2005年3月19日 (土) 14時開演

アクア文化ホール

後援 豊中市教育委員会 大阪府合唱連盟 日本合唱指揮者協会 JCDA



ごあいさつ

本日はお忙しい中、豊中少年少女合唱団（豊少）の第3回定期演奏会にお越しくださり、誠にありがとうございます。

おかげさまで、豊少は2001年の設立以来、順調に団員も増え続け、現在、約40名を有する児童合唱団になりました。

豊少は次の3つを基本において活動をしております。

- ① 私たちの心を豊かにしてくれる“本物”の歌を歌います
- ② 豊中混声、豊中ユース、ママス＆パパスなど、大人とも一緒に歌います
- ③ 音楽的に充実していて、それでいて歌いやすい曲を委嘱していきます

今回のステージも、これらを踏まえた構成となっております。

特に大人との合同は、全国的に見ても極めて希な活動形態であり、第4ステージでは、幼稚園から高校生の「豊中少年少女合唱団」に、高校生・大学生の「豊中ユース合唱団」、大人の「豊中混声合唱団」、そして子供達の保護者有志の「ママス＆パパス」が加わり、社会の縮図のようなステージを繰り広げます。

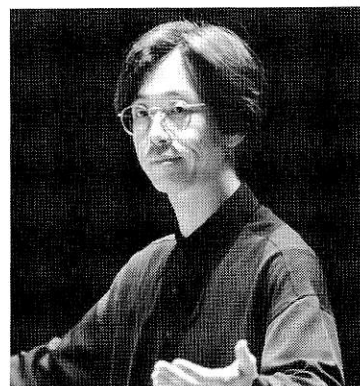
また、昨年度はこんにゃく座の代表兼音楽監督である萩京子先生に委嘱をし、長田弘さんの詩による「ファールさん」を初演することができましたが、今年は豊少委嘱第二弾として、関西を中心に大活躍しておられる山岸徹先生に委嘱し、「無伴奏合唱のための“大阪のわらべ歌”全5曲」を書いていただきました。

この曲は、大阪のわらべ歌が素材ですが、編曲というよりはむしろ作曲に近いもので、最高5声まで分かれるア・カペラ作品です。これまで主に2声・ピアノ伴奏で歌ってきた豊少にとって、いきなり高いハードルですが、これを飛躍の契機とすべく、頑張って練習してまいりました。

なお、これからも、あまり実力がない児童合唱団でも歌える、「高い音楽性」と「深い内容」を持った児童合唱曲を委嘱し続けていきたいと考えており、来年度は寺嶋陸也先生への委嘱が決定しております。

とは言え、実態は小学校低学年が半数以上を占める「ちびっこ雑唱団」です。お聞き苦しい点多々あるかと存じますが、子ども達の熱意に免じてお許しいただき、どうか最後までごゆっくりお聴きくださいますようお願い申し上げます。

豊中少年少女合唱団
指揮者 西岡 茂樹



プログラム

指揮 西岡茂樹

豊中少年少女合唱団・団歌

作詩・作曲 三善晃

I のはらうた より

作詩 工藤直子 作曲 新実徳英

- ・ はるがきた
 - ・ おがわのマーチ
 - ・ はなのみち
 - ・ しょくじのじかん
 - ・ さかさま
 - ・ さんぽのおと
 - ・ みんながうたう てんてんのうた
- ～うさぎ ふたご～
～ぐるーぶ めだか～
～あげは ゆりこ～
～あひる ひよこ～
～こざる いさむ～
～こやぎ ようたろう～
- ピアノ 西岡恵子
リコーダー 千熊美由貴
- ～おたまじゃくし わたる ほかのみんな～

II いのちの尊さを歌う

ピアノ 西岡恵子
鍵盤ハーモニカ 大竹麻知子

- ・ さとうきび畑
 - ・ 死んだ少女
 - ・ はじめのことば
 - ・ ファーブルさんⅡ
 - ・ 世界に一つだけの花
- 作詞・作曲 寺島尚彦
作詩 ガム・ヒメット 作曲 尾上和彦
作詩 さねとうあきら 作曲 萩京子
作詩 長田弘 作曲 萩京子
作詩・作曲 槇原敬之

III 豊中ユースの歌声

ピアノ 西岡恵子
賛助出演 関西大学グリークラブ

- ・ じゃあね
 - ・ 階段の上の子供
 - ・ あやつり人形劇場
 - ・ Ave Maria
- 作詩 谷川俊太郎 作曲 大熊崇子
作詩 谷川俊太郎 作曲 三善晃
作詩 谷川俊太郎 作曲 三善晃
作曲 Josquin des Prez

IV 子供と大人が共に歌う

ピアノ 山岸陽子、西岡恵子
共演 ママス&パパス（保護者有志）
豊中ユース合唱団、豊中混声合唱団

- ・ 私たちの星
 - ・ うたをうたうとき
 - ・ 雪の窓辺で
 - ・ 壁きえた
- 作詩 谷川俊太郎 作曲 松下耕
作詩 まど・みちお 作曲 松下耕
作詩 薩摩忠 作曲 三善晃
作詩 谷川雁 作曲 新実徳英

V 無伴奏合唱のための 大阪のわらべ歌

作曲 山岸徹

2005 年豊中少年少女合唱団委嘱曲 世界初演

- ・ 遊びのはじまり
- ・ なわとび歌
- ・ 天満の市
- ・ すいすいすっころばし
- ・ 花いちもんめ



プログラムノート

I のはらうた より 作詩 工藤直子 作曲 新実徳英

「のはらうた」は、“のはら村”に住んでいるさまざまな昆虫や動物や植物などの気ままなお喋りを詩人の工藤直子さんが聞いて書きとめた詩集です。それを新実徳英先生が楽しい合唱曲にしました。

今日は、子供たちがそれぞれの曲の主人公をプラカードにしてみました。それをご覧になりながら、素敵な“のはら村”の午後をお楽しみください。全21曲のなかから、今日は7曲を歌います。

II いのちの尊さを歌う

豊少がとても大切にしている「いのちの尊さ」を歌う曲を集めました。

「さとうきび畑」は、日本で唯一の地上戦が行われた沖縄が舞台です。一昨年、テレビで放映された「さとうきび畑の唄」を見たり、実際に沖縄に行ったり、子ども達は勉強を重ねています。

「死んだ少女」は、昨年8月6日、いずみホールで開催された「八月の祈り」コンサートで歌った「オラトリオ鳥の歌」の中の1曲です。広島に投下された原爆により死んだ少女が、世界中の家の扉をノックして反戦と平和のメッセージを伝えるという内容です。今年も8月6日に歌います。

「はじめのことは」は、第二次大戦末期の学童疎開を扱った、さねとうあきらさんの児童文学「神かくしの八月」の巻頭言がテキストに使われています。大人が起こした戦争でも、子ども達は容赦なく巻き込まれてしまいます。平和の来る日まで、子ども達も必死で生きのびるための戦いを続けなければならないのです。この曲は、子供から大人への厳しいメッセージと受け止めねばなりません。

「ファールさん」は、昨年の豊少の委嘱曲です。小さな虫たちをこよなく愛した昆虫博士ファールさんの生き様を通じて、私たちはかけがえのない生命の大切さを学ぶことができます。全5曲の組曲ですが、今日はその中から2番を歌います。（来年は全5曲を再演予定です）

「世界に一つだけの花」は、誰もが知っているSMAPの大ヒット曲、一人一人がみな違った輝きを持っている、その素晴らしさをみんなが見つめることができると、もっともっと平和な世の中になるのではないのでしょうか。“Number 1”ではなくて“Only One”を大切に生きていく意味を、ゆとり教育と言ったと思ったら、またすぐそれを方向転換したりする、どこかの国の文部科学省はもっと勉強してほしいものですね。

III 豊中ユースの歌声

高校生と大学生からなる豊中ユースの合唱をお楽しみください。もちろん豊少のメンバーと豊混のメンバーが一部、オーバーラップしています。

「じゃあね」は、あえて“さよなら”とは言わない別れを鮮やかに歌った名曲です。「階段の上の子供」と「あやつり人形劇場」は、スイスの画家パウル・クレーの同名の絵を見た谷川俊太郎さんのイメージを三善晃先生が合唱曲にしたもの。画家と詩人と作曲家というコラボレーションが作品に奥行きをもたらしています。「Ave Maria」は、ルネッサンス期のヨーロッパの作曲家ジョスカン・デ・プレの名曲です。昨年末、関西大学グリークラブの定演に、豊中ユースの女声がこの曲で賛助したので、今日はそのお返しに来てくれました。ありがとう。

IV 子供と大人が共に歌う

豊少定演の名物、子供と大人が共に歌うステージです。「私たちの星」と「うたをうたうとき」は、売れっ子作曲家、松下耕先生の作品で、子供と大人が共に歌うことを想定して書かれた数少ない合唱曲です。奇跡の星“地球”で、すべての生命が共生することへの祈り、そして“うた”を歌うことの喜びが誠に美しく描かれています。「雪の窓辺で」は、年末の豊中市合唱祭で親子で歌い続けている豊少のテーマソングのような曲です。窓辺で雪を眺めながら、“今年もいろんなことが一杯あったね”と親子が感慨を込めて言葉を交わしています。「壁きえた」は、言うまでもなく、1989年のベルリンの壁の崩壊を描いた曲。歓喜に湧く人々の姿の描写と共に、犠牲者への哀悼と平和への強い祈りが、ひしひしと伝わってくる名曲。親子で歌うことにより、きちんと受け継がれていくことを期待したいです。

昨年、豊中少年少女合唱団の演奏をお聴きし、透明でフレッシュな歌声に感激した直後、指揮者の西岡茂樹先生より次回の演奏会のためにということで作曲のご依頼を受けた。

筆者は、以前からご夫妻で子どもたちの“合唱団作り”をしておられる西岡先生の活動にとても興味をもっていた。今回の作曲にあたっては、当初いくつかのプランがあったが「大阪のわらべ歌」ということで西岡先生と意見が一致したのだった。

人々の中から自然に生まれたわらべ歌は、当然各地域により固有の色彩を持っている。今回の素材として選んだわらべ歌は、大阪で生まれ育った筆者自身の中にもサウンドの断片として息づいているものだ。それらを再構成して新しい合唱作品としてまとめた。「花いちもんめ」や「ずいずいずっころばし」は、もちろん大阪固有のわらべ歌ではなく“全国区”のものだが、大阪でも歌われているといった意味で加えた。これらの素材が現代に生きる子どもたちにとって真に共感しうるものとして歌われることを願った。

全体の中で第4曲「ずいずいずっころばし」に最大の力点を置いている。クライマックスであり、子どもたちによる「熱狂のまつり」となるよう意図した。

3曲目の「天満の市」は、一昨年6声部のア・カペラ用に書いたものをこのたび3部合唱に書き改めたものだ。6声部ヴァージョンの方は、これまでに何度か演奏されていて、昨年来日したハンガリーのア・カペラグループ「バンキエーリ・シンガーズ」のコンサートでも取り上げられた。これは、今年の夏にハンガリーでリリースされる同グループのCDにも収められることが決まっている。それ以外の4曲は、今回新たに書き上げたものである。

この作品が生まれるきっかけを与えてくださった西岡茂樹先生、歌ってくださった豊中少年少女合唱団のみなさん、そして本日お聴きくださった皆様に心から感謝を申し上げたい。この作品が今後多くの合唱団で歌っていただけることを願っている。

*わらべ歌素材（メロディー）の選択にあたっては、下記の書物を参考とした。

参考文献：「大阪のわらべ歌」（日本わらべ歌全集 16）

石田伊佐雄・著、浅野建二、後藤捷一、平井康三郎・監修 1980年 柳原書店（京都）

山岸徹（やまぎし とおる／Tohru Yamagishi）プロフィール 作曲家／1958年生まれ

大阪教育大学 特設音楽課程作曲専攻卒業、同大学院修了。物部一郎、野田千秋、三善晃の諸氏に師事。日本作曲家協議会、日本音楽教育学会、国際コダーイ協会会員。
元、奈良文化女子短期大学音楽学科助教授。2005年度より大阪キリスト教短期大学で、また2006年度より同志社女子大学で授業を担当する予定。また、南漣会合唱団（大阪市立大学グリークラブOB）、コアフロイデ、女声合唱団それ以外の合唱団の指揮をしている。

【受賞等】

- 1985年 「全日本合唱コンクール課題曲公募」入選
- 1992年 「朝日作曲賞」受賞（合唱曲部門・第1位）
- 1998年 「福井ハーブ音楽賞コンクール」（作曲部門）入選
- 2002年 「新・波の会日本歌曲コンクール」（作曲部門）優秀賞 ほか

【著 書】

【作 品】

- 「アヴェ・マリア」 ―女声合唱および児童合唱用―（1999年、ハルモニア）
- 「まど・みちおの詩による混声合唱のための五つの風景」
―姫路市民合唱団委嘱作品―（2004年、カワイ出版）

【訳 書】

- 合唱指導の出発点 ―小・中学校におけるポリフォニー、ハーモニー、形式の指導―
（原著：イルディコ・ヘルボイ・コチャール、2002年、音楽之友社）

【上記以外のおもな作品】

- 1992年 無伴奏混声合唱曲「木馬」 ―1993年度全日本合唱コンクール課題曲―
- 1994年 混声合唱曲集「もう一度 この地球に」（全5曲）
―大阪府立大学・大阪女子大学合同混声合唱団「エヴァ・コール」委嘱作品―
- 2002年 歌曲「小鹿」 ―「新・波の会日本歌曲コンクール」声楽部門・課題曲―
- 2005年 “Gloria”（無伴奏混声8部合唱） ―兵庫県立長田高校音楽部委嘱作品― ほか

この一年間の活動記録

年月日	場所	タイトル	主な演奏曲目
2004 年 3/20 (土)	アクア文化ホール	豊少第2回 定期演奏会	「となりのトトロ」「魔女の宅急便」「風になる」 柴田南雄「北越戯譜」～越後の遊び歌～ 三善晃「団歌・小鳥の旅」「朧月夜」など 萩京子「ファールさん」委嘱初演！
6/13 (日)	貝塚コスモス シアター 大ホール	大阪府合唱祭	三善晃「豊中少年少女合唱団・団歌」 萩京子「ファールさん」よりⅡ 三善晃「葉っぱのフレディ」
7/3 (土)	ザ・ソフォニーホール	豊混第 44 回定演	三善晃「葉っぱのフレディ」
7/10 (土)	アクア文化ホール	豊中市合唱のタベ	萩京子「ファールさん」よりⅡ 萩京子「はじめのことば」
8/6 (金)	いずみホール	八月の祈り	尾上和彦オラトリオ「鳥の歌」
8/17 (火) ～18 (水)	豊中市立 少年自然の家	夏合宿	
9/20 (祝月) 9/23 (祝木)	豊中池田ケー ブルテレビ	エキスタ集まれ！ (生放送)	新実徳英「のはらうた」より 寺島尚彦「さとうきび畑」など
10/9 (土)	中央公民館	公民館祭り	新実徳英「のはらうた」より Lassus 「Domine Deus」 Josquin Des Prez 「Ave Maria」
11/17 (水)	千里中央セルシー 大丸ビル3階前 特設ステージ	エンジェルベアー がやってきた！ 点灯式	「赤鼻のトナカイ」「いそげ ひつじかいさん」 「あら野のはてに」「もろびとこぞりて」 「ひいらぎかざろう」「おめでとうイエスさま」
12/5 (日)	アクア文化ホール	豊中市合唱祭	新実徳英「のはらうた」より 三善晃「雪の窓辺で」(ママス&パパスと合同)
12/14 (火)	アクア文化ホール	大阪北 YMCA クリスマス コンサート	「きよしこの夜」「Domine Deus」(Lasus) 「Ave Maria」(Josquin Des Prez)「いそげ ひつじかいさん」「おめでとうイエスさま」など
12/25 (土)	長興寺会館	豊少クリスマス会	
2005 年 1/23 (日)	びわ湖ホール	ゴールドデン コンサート	三善晃「豊中少年少女合唱団・団歌」 萩京子「ファールさんⅡ」「はじめのことば」
2/11 (祝金)	豊中池田ケー ブルテレビ	エキスタ集まれ！ (生放送)	三善晃「豊中少年少女合唱団・団歌」 萩京子「ファールさんⅡ」「はじめのことば」

今後の活動予定

年月日	場所	タイトル	主な演奏曲目
3/26 (土)	みつなかホール	池田北高等学校 コーラス部定演	三善晃「葉っぱのフレディ」
4/29 (祝金)	盲導犬センター	国際盲導犬デー	新実徳英「のはらうた」より
6/19 (日)	貝塚コスモス シアター	大阪府合唱祭	山岸徹「大阪のわらべ歌」より 松下耕「私たちの星」「うたをうたうとき」
7/2 (土)	ザ・ソフォニーホール	豊混第 44 回定演	松下耕「私たちの星」「うたをうたうとき」
7/9 (土)	アクア文化ホール	豊中市合唱のタベ	
8/6 (土)	いずみホール	八月の祈り	尾上和彦オラトリオ「鳥の歌」
12/5 (日)	アクア文化ホール	豊中市合唱祭	
10月中旬	中央公民館	公民館祭り	
12/4 (日)	アクア文化ホール	豊中市合唱祭	
2006 年 3/5 (日)	いたみホール	萩京子 合唱作品の個展	萩京子「ファールさん」全5曲
4 月または 5 月	アクア文化ホール	豊少第4回定演	豊少委嘱第3段 寺嶋陸也新作初演予定！

プロフィール

指揮 西岡茂樹（にしおか しげき/Shigeki Nishioka）

1955 年兵庫県生まれ。高校時代から合唱と指揮を始め、その後、作曲家の三善晃氏、高田三郎氏、柴田南雄氏、さらに合唱指揮者の田中信昭氏、須賀敬一氏との出会いと師事により、合唱観と活動軸を形成してきた。

指揮活動の最大の関心は、『世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造』にあり、主として現代日本の創作家の意欲的な作品をとりあげ続けている。これまでに、三善晃「伝説」・「詩の歌（女声篇）」、池辺晋一郎「海の墓標」、鈴木英明「銀の矢ふれふれ」、高田三郎「青森の子守歌・山形の子守歌」、萩京子「地図にない川」・「ファールさん」・「亡命地からの手紙・道しるべ」などを委嘱初演している。また近年、『大人と子供が共に歌い合う合唱』にも注力しており、2003 年には、大阪府合唱連盟の委嘱による三善晃作詩・作曲「葉っぱのフレディ」をプロデュースし、ジュニア 170 名、大人 400 名の合同合唱団で初演している。

現在、豊中混声合唱団、豊中少年少女合唱団、豊中ユース合唱団、女声合唱団あい、女声合唱アルモニレジュイ等で指揮を務める他、大学や一般合唱団への客演も多く、幼稚園から熟年までの幅広い年齢層をカバーしている。

大阪府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会会員、奈良産業大学教授。

E-mail shigeki.nishioka@nifty.ne.jp URL <http://www.nara-su.ac.jp/~nishioka/music.htm>

ピアノ&トレーナー 西岡恵子（にしおか けいこ/Keiko Nishioka）

中学・高校で合唱を経験し、神戸女学院大学で声楽を専攻。卒業後、ヤマハ音楽教室 講師、自宅でピアノ指導などを行うが、合唱が恋しくなり豊中混声合唱団に入団、パートリーダーなどを務める。子供たちの活躍のお陰で大舞台で伴奏する機会も出てきたが、自信满满の子供たちと違って、実は一番緊張していたりする..

ピアノ 山岸陽子（やまぎし ようこ/Yoko Yamagishi）

1993 年、神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業後、渡独。ケルン音楽大学ヴァーパターナル校、フライブルク音楽大学大学院室内学科にてディプロムを得て卒業。故梅田志づ、宇野紀子、山上明美、S. プロテッチ、H.ボーエ、M.バウマンの各氏に師事。ドイツにて、メニューイン財団“ライブ・ミュージック・ナウ”に所属。1999 年、ドイツのシュタウフェン音楽祭に出演。2000 年、2002 年、2003 年にジョイントコンサートを開催。

現在、女声合唱アルモニ・レジュイ、豊中少年少女合唱団の伴奏を務める等、アンサンブル奏者として、室内楽、伴奏の分野で活躍。2003 年には三善晃作曲“葉っぱのフレディ”、萩京子作曲“地図にない川”初演伴奏を務める。川西市のマタニティコンサートや豊中市民病院にてサロンコンサートに定期的に出演。神戸女子短期大学に勤務。川西音楽家協会会員。

豊中ユース合唱団 出演者一覧（五十音順）

SOP	大岩さゆり	小林真由美	那須麻貴恵	宮宗由季	三好雅子
ALTO	井関文子	志賀有希	中井靖子		
MEN	天野雄介	粕谷成史	高澤 亨	水谷勇太	山際 康弘

関西大学グリークラブ有志

ALTO	坂西祐介	土井顕司					
TEN	西川和紀	大河内一男	清水直樹	手塚祐吾			
BASS	荒谷知樹	植谷統玄	三原圭司	長尾元	拙冬真伍	林昌俊	清水英幸

メンバーからのメッセージ（五十音順）

浅野紗也賀（小5）

3度目の定演、私は全部出演をし、成功しているので、今回も絶対に成功させたいです（^o^）。今回初めて歌う「大阪のわらべ歌」とってもドキドキしています。でも振り付けなどで工夫していてとても楽しい歌です。私はこの歌が一番気に入っています。他にもいい歌がたくさんあります。精一杯頑張りますので最後まで楽しんで聴いてください。

浅野真利奈（小4）

今回の定期演奏会は、前回よりも団員の数が増えたと、迫力があると思います。初めて歌う「大阪のわらべ歌」は、動きも入っているので、楽しく覚えることが出来ました。豊混の皆さんと「私達の星」などを一緒に歌えて嬉しいです。この日のために一生懸命練習してきたので、本番で歌詞を間違えないように頑張ります。最後までじっくり聴いてください！！

伊東克昌（小6）

ぼくは合唱とその他にテニスを習っています。去年は用事がありこの定期演奏会にでることができなかったのですが、今回ぼくにとってははじめての定期演奏会です。これまで練習してきた成果が発揮できるよう、精一杯歌いたいと思います。みなさん、応援して下さい。

今西 梓（小6）

私は、今回初めての定期演奏会です。私は、大人と子供で歌う歌が一番好きです！ 楽しく、上手にできるように頑張ります！

岩田知佳（小4）

私は、二回目の定期演奏会です。歌をみんなで歌うことが大好きです！ とくに、大人と一緒に歌う曲が好きです。わらべ歌は、初めて演奏します。ソプラノ・メゾ・アルトの三つに分かれて歌うので、とても難しいけど、頑張ります。今日は、みんなと楽しく歌いたいです♪

岩田知紗（小2）

私は、初めての定期演奏会です！ 1 番好きな歌は、「私たちの星」です♪ 曲が、きれいだからです。ほかにもいっぱい好きな曲が、あります。わらべうたは、むずかしいけどたくさん練習しました！！ 今日は、がんばるので聞いて下さい！！

内賀嶋潤（小4）

大阪のわらべ歌で、ぼくたちははじめて3つのパートにわかれて歌います。ぼくはメゾのパートです。メゾはソプラノとアルトにはさまれているのでむずかしいです。でも今年はじっくりと練習したのでその練習をむだにしないようがんばります。

内賀嶋仁美（中1）

私は今、中学の吹奏楽部でフルートを吹いています。フルートを吹くことも好きですが、歌を歌うほうがもっと好きです。今回は、大阪のわらべ歌を初めてステージで歌います。これまでで一番むずかしい曲だと思いますが、でも一生懸命練習してきました。その成果をぜひお聞きください。

大澤菜月（小2）

私はきょ年の11月に入ったので歌はあまり上手ではありませんが、歌を歌っている時はとても楽しいです。私が好きな曲は「私たちの星」です。「私たちの星」は、私たちは地きゅうというこんなにいいところにすんでいるんだなーという気持ちになれる歌です。もっといろんな曲をおぼえて歌を大切にしていきたいです。

大竹沙結梨（小2）

私は合唱団に小1の初めから入っています。練習は楽しいし、友達もたくさんできました。私が好きな歌は、「団歌」と「かべきえた」です。「遊びのはじまり」の最初のハーモニーもとてもきれいで好きです。皆さん、どうぞ聞いて下さい。

大谷琴美（小4）

私は、合唱とバトミントンが大好きです。私は去年の4月に入団して、初めての定期演奏会なので、少しドキドキしています。豊少の人達はみんなやさしいので、私はこの合唱団が大好きです。私の一番好きな歌は、「かべきえた」と「私たちの星」です。心をこめて歌うので最後まで聞いてください！！

大谷智美（小6）

私は、合唱団に入ってやっと一年経つところです。今日の「子供と大人が共に歌う」歌4曲は、伴奏がとてもきれいで、そこに大人と子供の声があわさると、すごくきれいなハーモニーが生まれます。「大阪のわらべうた」もとても難しい曲ですが、これもきれいな曲です。今日はどの歌もがんばって歌いたいと思います。

小野 楓（小3）

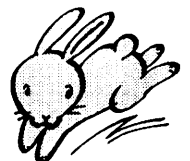
わたしは、豊中少年少女合唱団で歌っている歌のなかで、「わたしたちの星」と「団歌」が一番好きな歌です。練習は、いつもとても楽しいです。これからも、いろんな歌を、いっしょに歌っていききたいと思います。

小野 瞳（小6）

豊中少年少女合唱団の仲間に入れてもらって、1年がたちました。最初の練習日には、なかなかみんなにとけこめなくて、まわりを見ながらやってるってかんじでした。でも、そんな私を気にかけてくれる人たちがいて、その人たちのおかげで、今では恥ずかしがらずにとっても楽しんで歌えるようになりました。

河中彩子（小6）

私はリトミックを3才の時からやっていて、小1からはソルフェージュと合唱をやっています。私が1番好きな曲は「私たちの星」です。豊中少年少女合唱団のみんなはとても仲良しです！ 今回の定期演奏会は出られないけど、練習は一生懸命しました！ 去年の定演よりも上手になっているのでみなさん聞いて下さい。



河中季子（中3）

私は、3歳の時から歌を習っていて歌う事が本当に大好きです。今回は、山岸徹先生作曲の「大阪のわらべ歌」の初演に挑戦です。この曲は、ピアノがなく3部合唱の曲なのでとても難しいです。最初は無理だと思いました。けれど、歌っていてこの曲が大好きになりました。頑張って歌うので聞いて下さい。

窪野翔太（小6）

ぼくは、合唱に入ってから1年になります。合唱に入るきっかけは、友達にさそわれて入りました。ぼくが好きな歌は多くにはないです。合唱で歌う歌は、どれもいい歌ばかりです。合唱に入ってくる人も増えて少しうれしいです。これからも合唱でいろんな歌を歌いたいです。

高橋日菜子（年長）

私は、みんなと歌うのが大好きです。それは、楽しいからです。定期演奏会には、初めて出ます。たくさんの曲を練習するのが、大変でした。一番好きな曲は、すいすいすっこ橋です。大きな口を開けて歌います。どうぞ聴いていてください。

高橋良寛（小2）

ぼくは、みんなと歌うと、気持ちが良くなってきます。一番気持ち良くなる歌は、「かべきえた」です。一番きんちょうする歌は、「てんまのいち」です。はりきる歌は、「みんなでてんてんの歌」です。トンボを持つところです。大きな口をあけて、たのしさが伝わるように、歌います。

玉田真由（小3）

私が好きな歌は「壁きえた」です。この歌は、とてもきれいだからです。国歌も大好きです。大阪のわらべ歌は練習が大変だったけどおもしろくてきれいな歌です。この歌はいろいろなしぐさをします。第三回定期演奏会もがんばりたいです。

千熊啓介（小5）

今年で演奏会は、二回目です。いろいろと大変な日がありました。三月五日では午後の1時から5時までと6時から7時まであって大変でした。でも合唱団は楽しいです。先生はおもしろいし、友達も増えたからです。今日歌う歌の中では「みんながうたうてんてんのうた」がおもしろいで気に入ってます。

中井靖子（高1）

今年も定演のステージに立たせてもらえてうれしいです。どの曲も一生懸命練習してきましたが私は大人とうたう「壁きえた」が大好きです。平和のよろこびをシンプルな言葉でうたう、素敵な曲です。これからも、もっともっと練習を重ねて合唱を楽しんでいきます。今日は最後までごゆっくりお楽しみください。

中井 亮（小4）

合唱団にはいって4年たちました。どんどん歌うのが楽しくなってきました。一番好きなのは「さとうきび畑」です。去年沖縄のさとうきび畑でお姉ちゃんと大きな声で歌いました。風がふくと本当に「ざわわ…」とゆれていてびっくりしました。だから「ざわわ…」と歌うところは、よくわかって自信があります。

西岡彩音（小1）

とよ中少年少女がっしょうだんのていきえんそうかいにきてくれてありがとうございます。わたしは、この日をまわっていました。わたしたちは、いっしょうけんめいれんしゅうしました。さいごまできいて下さい。いっしょうけんめいやります。さいごのステージのうたのだい名はおんなじでも、うたがちょっとちがいます。とってもたのしいですよ。

西岡友樹（小5）

豊中少年少女合唱団第3回定期演奏会に来てくださってありがとうございます。今年は、山岸先生にいしょくした「大阪のわらべ歌」を初めてぶたいでうたいます。練習はとても大変でした。全5曲なんとかがんばって覚えて歌います。

野添円翔（小2）

わたしは、合しょうだんに入ってから一年たちます。今まで、いろんなきょくをがんばってきました。好きなきょくは、「はじめのことば」と「のはらうた」の「しょくじのじかん」と「雪のまどべ」です。今年がはじめてのていきえんそう会なので、がんばります。

野々山綾（小6）

私は、「トトロ」の曲が一番すきです。この歌をうたうと、楽しくなるからです。ちなみに、「トトロ」のキャラクターもすきです。定期演奏会で歌う曲を、みんな一生懸命練習してきました。歌う曲によって、楽しいところは、たのしく、悲しいところはかなしく、気持ちが伝わったなあと思っています。

畠中愛莉（小3）

私が一番好きな歌は、「すいすいすっこぼし」です。アルト、メゾ、ソプラノを合わせて歌うところが楽しいです。メゾは難しいけど頑張ります。

濱口優香（小3）

私にとって今回は2回目の定期えんそう会です。私が一番すきな曲は「のはらうた」です。なぜなら明るい曲だからです。がんばらないといけない曲は「わらべ歌」です。他の曲もむずかしいけれど、せいっぱいがんばりたいと思います。

福井那奈（年中）

わたしは、くなわとびうた>とくみんながうたうてんてんのうた>がだいすきです。いえでは、りほおねえちゃんががっしょうのうたをおしえてくれるので、うれしいです。きょうもがんばってうたいます。

福井里歩（小2）

わたしは、合唱に入ってもうすぐ1年になります。しげき先生はおもしろいし、けい子先生は顔も歌声もきれいだし、お姉ちゃんたちやお友達みんななかよしだから、れんしゅうがとっても楽しいです。豊中に入ってよかったです。



前田萌衣（小5）

入団して5ヶ月たちました。すぐに友達がたくさんできたので、練習に行くのがとても楽しいです。学校の登校中やおふろでも、いつも歌っています。とにかく私は歌が大好きです！今日はきんちょうしてるけど、胸をはってせいっぱい歌います♪ 聴きにきて下さったみなさん！豊少に入っていっしょに歌いませんか？

牧口こころ（小4）

合唱を始めて今年で3年になります。今まで続けてきて良かったです。今回の定演では、去年よりたくさんの歌を歌えてうれしいです。「大阪のわらべ歌」では、遊びながら歌うのがおもしろいです。でも少しむずかしかったです。みんなといっしょに何回も練習をして覚えました。今日が来るのをとても待っていました！

さあ、「豊少」を見て☆聴いて♪楽しんで！！

水谷亮介（小2）

2月に入団しました。友達もまだあまりいません。でも歌を唄うのはチョッピリ楽しいです。舞台上立つのは好きです。発表会頑張ります。

村田愛子（小2）

私の好きな曲は「世界に一つだけの花」と「国歌」です。いろんな曲をおぼえるのに、すごく時間がかかりました。でも、歌を歌うのが大好きです。がんばって練習しました。はじめは曲の意味があんまりわかりませんでした。でもだんだん歌っているうちに、意味がわかってきました。これからたくさん、歌を歌いたいです。聴いてください。

村田咲子（小4）

私は合唱団に入って好きな歌がたくさん増えました。今回歌う歌の中で、好きな曲は「壁きえた」と「私たちの星」です。今日はちがう合唱団の人ともいっしょに歌えるので、とてもうれしいです。楽しい歌や悲しい歌などいろんな曲があります。心をこめて歌います。聴いてください。

森 万葉（小1）

私は2回めのえんそうかいです。私はがっしょうだんがすきです。うたっていると、なんだかたのしくなってきます。

森 菜月（小3）

私の好きなことはバスケットと合唱です。一番好きな歌は『壁きえた』と『のはらうた』です。大人と歌う『私たちの星』『うたをうたうとき』『雪の窓辺』『壁きえた』はいろいろなハーモニーがあってきれいなので大人とうたうのは好きです。一生懸命うたいます！

矢熊 光（小3）

大阪のわらべうたの練習をがんばっています。初めてメロを歌うので緊張します。ずいずいずっころばしは難しいけど、楽しい歌です。のはらうたの、てんてんの歌は、色んな動物や植物が出てきます。てんてんとなんじゃらほいのかけあいが面白いです。

芳村紗輝（年長）

わたしは、だんか、なわとび、じてんしゃ、てつぼう、モーツァルトのきらきらぼしへんそうきよく、リトル・マーメイドのパート・オブ・ザ・ワールドがすきです。そつえんしきでえんそうかいでられないけど、みんながんばってね。

和田彩佳（中1）

私は最近この合唱団にはいったので、まだあんまり皆のように上手には歌えませんが、一生懸命歌います。頑張って練習した成果をできるかぎり全部出したいです。とても綺麗な歌や楽しい歌ばかりなので聞いてください！

渡辺弥咲（年長）

わたしはがっしょうがすきです。せんせいはおもしろいです。おねえちゃんたちやさしいしおともだちができてうれしいです。うたがいっぱいうたえてたのしいです。もうすぐいちねんせいです。ともだちひやくにんとおにぎりたべたいです。

♪演奏会のお知らせ♪

「萩京子の個展 新しい合唱音楽の姿を求めて」

作曲家・萩京子と合唱指揮者・西岡茂樹のコラボレーションにより近年に誕生した合唱作品を、委嘱初演合唱団が一堂に会して、一挙に演奏します。今からご予約ください。

日 時：2006年3月5日（日）

場 所：いたみホール

主 催：萩京子の個展実行委員会 TEL 0797-88-1890

指 揮：西岡茂樹 ピアノ：萩京子

プログラム（予定を含む）

「地図にない川」（2003） 石垣りん 詩 女声合唱団あい（徳山）・女声合唱アルモニ・レジュイ

「ファールさん」（2004） 長田弘 詩 豊中少年少女合唱団

「亡命地からの手紙・道しるべ」（2004） ダルウィーシュ／ホー・チ・ミン 詩 豊中混声合唱団

「はっぱとりんかく」（2005/6 予定） まど・みちお 詩

★クロージングに、約200名による合同演奏にて新曲初演予定★



ソプラノ

内賀嶋仁美	中1	玉田 真由	小3
和田 彩佳	中1	濱口 優香	小3
伊東 克昌	小6	岩田 知紗	小2
小野 瞳	小6	野添 円翔	小2
河中 彩子	小6	村田 愛子	小2
浅野紗也賀	小5	芳村 紗輝	年長
千熊 啓介	小5	渡邊 弥咲	年長
西岡 友樹	小5		
岩田 知佳	小4	◎休団中	
村田 咲子	小4	峯崎 綾	中3
小野 楓	小3	渡邊 隼人	小1

メソソプラノ

河中 季子	中3
窪野 翔太	小6
野々山 綾	小6
内賀嶋 潤	小4
大谷 琴美	小4
畠中 愛莉	小3
森 菜月	小3
矢熊 光	小3
大澤 菜月	小2
大竹沙結梨	小2
森 万葉	小1



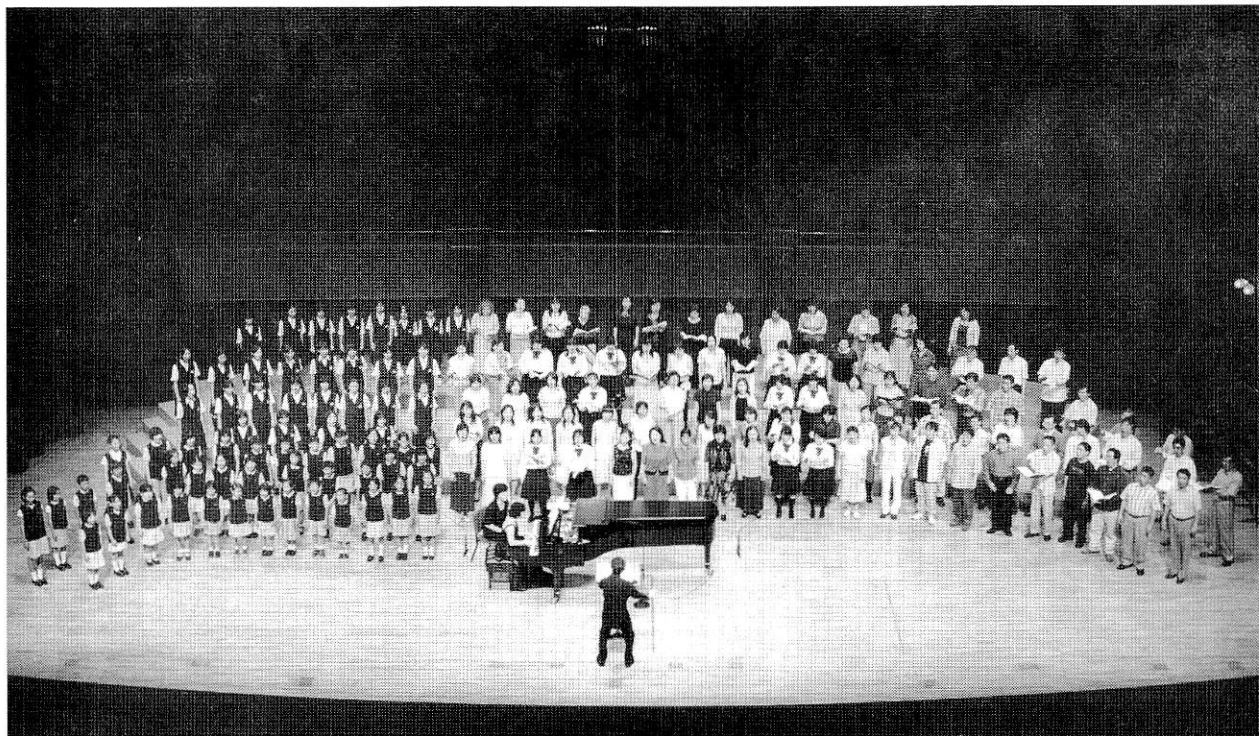
アルト

中井 靖子	高1
今西 梓	小6
大谷 智美	小6
前田 萌衣	小5
浅野真利奈	小4
中井 亮	小4
牧口ころこ	小4
高橋 良寛	小2
福井 里歩	小2
水谷 亮介	小2
西岡 彩音	小1
高橋日菜子	年長
福井 那奈	年中

◎休団中
堀 詩子 高1



団員募集！一緒に歌おう



★ 豊中少年少女合唱団

練習日：毎週土曜日 13時～15時

場所：中央公民館、愛光幼稚園（豊中駅前）ほか

連絡先：西岡（0797-88-1890）、河中（06-6858-8715）

E-mail：keiko_nishioka@jttk.zaq.ne.jp

ホームページ：http://homepage1.nifty.com/nishioka/toyo/



定期演奏会後の今が一番
入団に適した時期です
小学生から中学生の皆さん、
さあ、いっしょに歌いましょう！

★ 豊中ユース合唱団

練習日：毎週土曜日 15時～17時

場所：中央公民館、愛光幼稚園（豊中駅前）ほか

連絡先：西岡（0797-88-1890）

E-mail：keiko_nishioka@jttk.zaq.ne.jp

ホームページ：http://homepage1.nifty.com/nishioka/youth/



高校生から大学生の皆さん、
さあ、いっしょに歌いましょう！

★ 豊中混声合唱団

練習日：毎週土曜日 18時～21時

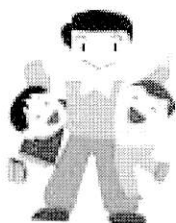
偶数火曜日 19時～21時

場所：中央公民館ほか

連絡先：玉山（090-4036-5753）

E-mail：塩崎 k-shio@psn.ne.jp

ホームページ：http://www.psn.or.jp/~k-shio/toyokon/toyokon.htm



創立60年を越える歴史
ある合唱団です 全日本
合唱コンクールで幾度も
金賞受賞、CDレコーディングも多数 入団時の
年齢が18才～45才の
方が対象となります

歌詞カード

I のはらうた

■はるがきた

うさぎふたご

もみいろの すきとおる みみに
きこえてくる はるの ひびき
おかのうえから らん・らん
たんぼぼの ふかふかのうた

■おがわのマーチ

ぐる一ぶ・めだか

ツン タタ ツン タ
みぎむいて ピン
ツン タタ ツン タ
ひだりむいて ピン
ぼくら おがわの たんけんたい
せびれ そろえて ツン タッタ

かえる よこめに
ツン タタタ
こぶな おいかけ
ツン タタタ
ぼくら おがわの たんけんたい
めだま ひからせ ツン タッタ

ツン タタ ツン タ
みずくさ チョン
ツン タタ ツン タ
こいしを チョン
ぼくら おがわの たんけんたい
あさから ばんまで ツン タッタ

■はなのみち

あげはゆりこ

ああふわり かぜのなか
おおひらり はなのみち
こちらから むこうから
ともだちが であいます

ああふわり こんにちは
おおひらり きれいだね
おどろうよ くるくと
かぜのなか はなのみち

■しょくじのじかん

あひるひよこ

てんぺこ てんぺこ
ぴっぴっぴっ
わたしは いけに でかけます

さっぼん さっぼん
しゅっしゅっしゅ
わたしは いけで およぎます

らんぶく らんぶく
つんつんつん
わたしは いけに もぐります

およいで もぐって
ごちそう たべて
おなかが いっぱい
ごちそうさま

■さかさま

こざるいさむ

きのえだに ぶらんと
さかさまに ぶらさがったら
やまも さかさま
はやしも さかさま
あっちも こっちも
さかさまに なったよ

さかさまに ぶらさがって
「やっほー」と いったら
やまびこが さかさまに
「ほっやー」と こたえたよ

■さんぽのおと

こやぎようたろう

さんぽの おとは なんのおと？
おや あしおとだ
とんとんとん
さっさっさ
すたばた すたばた ととらたと
こつこつ からころ ぼったんこ
こころで ちょっと ひとやすみ

さんぽの おとは なんのおと？

おや いしころだ
ごろろんぐる
こつんころん
ざくざか ざくざか くりくりばい
ころーん からーん とってんこ
こころで ちょっと ひとやすみ

さんぽの おとは なんのおと？

おや みずたまり
ちゅらちゅらら
ゆらゆらら
ちゃぼらん ちゃぼらん
じゃぶじゃぶり
びちゃーん ばちゃーん
ぼっちゃんこ
こころで ちょっと ひとやすみ

■みんながうたう てんてんのうた

おたまじゃくしわたる
てんてんてん なんじゃらほい
おたまじゃくしが てんてんてん
おひさま ぽかぽか いけのなか
あたまふりふり てんてんてん

たんぼぼはるか
てんてんてん なんじゃらほい
たんぼぼわたげが てんてんてん
かぜにふかれて まいあがり
わあ めがまわる てんてんてん

ほたるまどか
てんてんてん なんじゃらほい
ほたるひかって てんてんてん
こんやは みずべで
おまつりだ
おどりあかそう てんてんてん

つばめひとし
てんてんてん なんじゃらほい
つばめならんで てんてんてん
ながいたびして ごくろうさん
おしゃべりはずんで
てんてんてん

あめひでき
てんてんてん なんじゃらほい
あめのしずくが てんてんてん
はっぱの さきから
ころげおち
あとから あとから
てんてんてん

ありんこたくじ
てんてんてん なんじゃらほい
ありんこ あつまり
てんてんてん
あまいおやつを みつけたぞ
みんなで はこぼう
てんてんてん

とんぼすぐる
てんてんてん なんじゃらほい
そらに とんぼが
てんてんてん
めだま きよろきよろ
いいけしき
かぜきるはねだ てんてんてん

かきゆうどう
てんてんてん なんじゃらほい
かきのみ あかいぞ
てんてんてん
はっぱおちても みはおちぬ
ふゆまで がんばれ
てんてんてん

Ⅱ いのちの尊さを歌う

■さとうきび畑

ざわわ ざわわ ざわわ
広いさとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ
風が通りぬけるだけ
今日も見渡すかぎりに
みどりの波がうねる
夏の陽ざしのなかで

ざわわ ざわわ ざわわ
広いさとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ
風が通りぬけるだけ
昔 海のむこうから
いくさがやってきた
夏の陽ざしのなかで

ざわわ ざわわ ざわわ
広いさとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ
風が通りぬけるだけ
あの日 鉄の雨にうたれ
父は死んでいった
夏の陽ざしのなかで
ざわわ ざわわ ざわわ
広いさとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ
風が通りぬけるだけ
そして私の生まれた日に
いくさの終りがきた
夏の陽ざしのなかで

ざわわ ざわわ ざわわ
広いさとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ
風が通りぬけるだけ
風の音に とぎれて消える
母の子守の歌
夏の陽ざしのなかで

ざわわ ざわわ ざわわ
忘れられない悲しみが
ざわわ ざわわ ざわわ
波のように押しよせる
風よ 悲しみの歌を
海に返してほしい
夏の陽ざしのなかで

ざわわ ざわわ ざわわ
風に涙はかわいても
ざわわ ざわわ ざわわ
この悲しみは消えない

■死んだ少女

扉を開けて たたくのはわたし
どの家の扉も わたしはたたくの
あなた方の目に わたしは見えない
死んだ人は見えないのだから

わたしが死んだのは ヒロシマ
たくさんの年がすぎてゆきます
いつまでもわたしは7つ
死んだ子は年をとらないから

炎は わたしの髪の毛を やき
炎は わたしの目に かぶさり
ひとにぎりの 灰に わたしはなり
灰は 風に 運び さられ・・・

おねがい！
けれどわたしのためでなく
わたしには
パンもお米もいらないの
アメだって食べられないの
木の葉みたいに
もえてしまったから

扉を開けて たたくのはわたし
地球の上のすべての人におねがい
子どもが 炎に やかれないために
子どもが アメをたべられるために

扉を開けて たたくのはわたし
扉を開けて……

■はじめのことば

子どもだからといって
戦争は よけてとおらない。
泣こうが わめこうが
だれもたすけてくれない戦争
かばそい手足を つっぱらせ
ありったけり チエと勇気を
ふりしぼって
子どもたちだって たたかったのだ。
やせこけた ふたつのうでは
とてもささえきれないほどの
平和のおもたさを たしかめた
その日まで……。

■「ファールさん」より Ⅱ

目立たない虫、
目には見えないような虫、
とるにたらない虫、
つまらない虫、
みにくい虫、いやしい虫、
くだらない虫。
ファールさんは、
小さな虫たちを愛した。

生きるように生きる
小さな虫たちを愛した。
虫たちは、
精一杯、いま、ここを生きて、
力をつくして、
じぶんの務めをなしとげる。
じぶんでない生きかたなんか
けっしてしない。

みずからすることをする、
ただそれだけだ。
生命というのは、
すべて完全無欠だ、
クソムシだろうと、人間だろうと。
世の中に無意味なものは、
何一つない。

偉大とされるものが、
偉大なのではない。
美しいとされるものが、
美しいのではない。
最小ノモノニモ、最大ノ驚異アリ。
ファールさんは、
小さな虫たちを愛した。

■世界に一つだけの花

花屋の店先に並んだ
いろんな花を見ていた
ひとそれぞれに好みはあるけど
どれもみんなきれいだね
この中で誰が一番だなんて
争う事もしないで
バケツの中誇らしげに
しゃんと胸を張っている

それなのに僕ら人間は
どうしてこうも比べたがる？
一人一人違うのにその中で
一番になりたがる？

そうさ 僕らは
世界に一つだけの花
一人一人違う種を持つ
その花を咲かせることだけに
一生懸命になればいい

困ったように笑いながら
ずっと迷ってる人がいる
頑張って咲いた花はどれも
きれいだから仕方ないね
やっと店から出てきた
その人が抱えていた
色とりどりの花束と
うれしそうな横顔

名前も知らなかったけれど
あの日僕に笑顔くれた
誰も気付かないような場所で
咲いてた花のように

そうさ 僕らも
世界に一つだけの花
一人一人違う種を持つ
その花を咲かせることだけに
一生懸命になればいい

小さな花や大きな花
一つとして同じものはないから
No.1にならなくてもいい
もともと特別な Only one

Ⅲ 豊中ユースのステージ

■じゃあね

思い出しておくれ
あの日のこと
楽しかったあの日のこと
けれどそれももう過ぎ去って
じゃあね

ひとりぼちはこわいけど
きみにはきみの明日がある
どこか見知らぬ宇宙のかなたで
また会うこともあるかもしれない
じゃあね
もうふり返らなくてもいいんだよ
さよならよりもさりげなく
じゃあね じゃあね……

忘れちゃっておくれ
あの日のこと
くやしかったあの日のこと
けれどそれも過ぎ去って
じゃあね

年をとるのはこわいけど
ぼくにはぼくの日々がある
いつか夜明けの夢のはざままで
また会うこともあるかもしれない
じゃあね
もうふり返らなくてもいいんだよ
さよならよりもきっぱりと
じゃあね じゃあね……

■階段の上の子供

かいだんのうえのこどもに
きみははなしかけることができない
なくことができるだけだ
かいだんのうえのこどもがりゆうで

かいだんのうえのこどもに
きみはなにもあたえることが
できない
しぬことができるだけだ
かいだんのうえのこどものために

かいだんのうえのこどもは
たったひとり
それなのになまえがない
きみはただよばれるだけだ

■あやつり人形劇場

あやつられていることをしている
から
きみはそんなにふざけるのだ

いとはたるみ
いとははり
いとはもつれ

あやつるわたしのゆびさきへと
いとをつたっておくられてくる
きみのいのち

あやつられていると知っているから
きみはよるそんなにもふかくねむる

■Ave Maria

めでたし 恩寵にみちたマリア
主はあなたと共にいます 清き乙女。
めでたし マリアの懐胎
大いなる喜びに満ちた祭典
天のもの 地のもの
新しい喜びが世界に満ちる。
めでたし マリアの誕生
そはわれらの祝いであった
ルチフェルの如く 昇りいで
まことの太陽に先立つ光
めでたし 敬虔なる従順
男を知らざる懐胎よ
その知らせはわれらの救いであった。
めでたし まことの処女
けがれなき貞潔よ
その浄化は われらの浄めであった
めでたし
あらゆる 天使にもまさるマリアよ
その被昇天はわれらの栄光であった
ああ神の母、われを記憶したまえ
アーメン。

Ⅳ 子供と大人が共に歌う

■私たちの星

はだしで踏みしめることの出来る星
土の星

夜もいい匂いでいっぱいの星
花の星

ひとしずくの露がやがて海へと育つ
星
水の星

道ばたにクサイチゴがかくれている
星
おいしい星

遠くから歌声の聞こえてくる星
風の星

さまざまな言葉が同じ喜びと悲しみを
語る星
愛の星

すべてのいのちが
いつかともに憩う星
ふるさとの星

数限りない星の中の
ただひとつの星
私たちの星

■うたをうたうとき

うたを うたう とき
わたしは からだを
ぬぎすてます

からだを ぬぎすてて
こころ ひとつに なります

こころ ひとつに なって
かるがる とんでいくのです

うたが いきたい ところへ
うたよりも はやく

そして
あとから たどりつく うたを
やさしく
むかえてあげるのです

■雪の窓辺で

窓のそとは 雪がながれてる
ごらんよ
あの雪は 二月のちょうちょよ
ひるまの静かなあのへやに
春のくる日をおしえていった
白いちょうちょよ
たのしいことや つらいこと
ことしもいっぱい ありました

窓のそとは 雪がふっている
ごらんよ
あの雪は 四月のはなびら
うまれたばかりのみどりごの
ミルクのむ目にふりそそいでた
白いはなびら
あかるいはなし くらいうた
ことしもいっぱい ききました

窓のそとは 雪がふりつもる
ごらんよ
あの雪は 今年のおもいで
今年の空からまいおりる
すぎた春秋ひとつひとつの
白いおもいで
わらったことや ないたこと
ことしもいっぱい ありました

■壁きえた

にしと ひがし
そらを つなぎ
よるの みやこ
かべは きえた

どよめく とおり
ぼだいじゅ ゆれる
グーテナーベント！ ローザ！
いきて あえた

もえろ まわれ
ひとの まつり
もえろ かわれ
ひとの れきし

みずは ながれ
あきの かおり
おかの はてに
さくは いらぬ

こちらの パンと
そちらの ミルク
グーテンモルゲン！ ペーター！
いきて あえた

もえろ まわれ
ひとの まつり
もえろ かわれ
ひとの れきし

V 大阪のわらべ歌

■遊びのはじまり

おにごっこするもん
このゆびとまれ
おにごっこするもん
よっといで

よっといで
よっといで

かくれんぼするもん
このゆびとまれ

たかいやま くずせ

■なわとび歌

いっぺん にへん さんぺん
しへん ごへん ろっぺん
ひちへん はちへん きゅうへん じゅっぺん

いっかい にかい さんかい
よんかい ごかい ろっかい
ひちかい はちかい きゅうかい じゅっかい

おおなみ こなみ
こことんではしれ

おはいり はい よろし
ジャンケンホイ あいこでしょ

おおなみ こなみ
ひっくりかえして じゃぶじゃぶ

■天満の市

ねんねころいち 天満の市は
大根そろえて 舟に積む

舟に積んだら どこまで行きやる
木津や難波の 橋の下

橋の下には かもめがいよる
かもめとりたし 網ほしや

■ずいずいずっころばし

ずいずいずっころばし ごまみそずい
茶つばに追われて トッピンシャン
抜けたらドンドコショ
俵のねずみが 米食てチュー
チューチューチュー
お父さんが呼んでも お母さんが呼んでも
抜けっこなァしよ
井戸のまわりで お茶碗かいたの だーれ

■花いちもんめ

ふるさと もとめて 花いちもんめ
ふるさと もとめて 花いちもんめ
たんすながもち どのこがほしい
あのこがほしい
あのこじゃわからん
このこがほしい
そうだんしましよ

勝ってうれしい 花いちもんめ
負けて くやしい 花いちもんめ